

平成27年 9月 4日

各 位

## 当院で発生した医療過誤について

平成27年8月21日（金）午後、当院で実施している樹状細胞ペプチドワクチン治療において、他者の樹状細胞ペプチドワクチンを皮下に投与する事象が発生しました。

当院では今回の件を極めて重く受け止め、ご本人様・ご家族様に対し経緯、並びに予測される合併症を説明・謝罪するとともに、予測される合併症に対する予防措置に全力で取り組んでおり、現在のところご本人様には重篤な症状、健康被害は生じておりません。

今回の件が発生した当日に院内調査委員会を立ち上げ、同時に認定再生医療等委員会、並びに厚生労働省への報告と共に現在、全ての免疫療法を一時中止し、樹状細胞ペプチドワクチンによる治療のみならず当院で実施するがん免疫細胞治療、その他治療体制の見直し、識別管理システムの導入による過誤防止、医療スタッフ以外の職員をも含めた全職員への再教育、注意喚起の徹底等、再発防止に取り組んでいるところです。

この度は、患者様及びご家族様、当院で治療を予定されていた患者様並びに関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

グランソール奈良

院長 辻村貴弘